



あゆみオンライン！！

昨年度から試験的に実施していた「あゆみ」のオンライン化を本年度から本格実施しています。

これまでの「あゆみ」

- A4 サイズの厚みのあるノート(1冊 351円)
- 前日の就寝までに日記を記入する。
- 朝登校すると、「あゆみ」を提出……係が集め担任の先生へ渡す。
- 担任の先生は30名以上の「あゆみ」をかごに入れ、校内を持ち歩き、空き時間や昼休みに内容等を終わりの会までに確認し、終わりの会で返却する。



今の「あゆみオンライン」

- タブレット内のアプリ(デフォルトのアプリなので費用はかかりません)
- 前日の就寝までに日記を記入する。
- 担任の先生は、業務用タブレットで、空き時間や昼休みに内容等を確認する。

4月30日の「あゆみオンライン」に、保護者から以下のコメントがありました。

今日、車からの通りすがりだったのですが、浅江の西京銀行前の交差点で、自転車に乗った浅江中の生徒さんが道路に座っていた高齢の方に、わざわざ自転車から降りて声を掛けに行かされている姿を目にしました。

ヘルメットも脱帽しながら腰を屈めて話されている姿に感動しました。

お知り合いだったのかもしれませんが、私達大人でも対応に迷う勇気ある、そして優しい対応が当たり前のようにできるあの子どもたちの姿は、私達大人も見習わなければと痛感いたしました。

そんな人格者を育てていく事のできる浅江中学校に入学できた事を誇りに思った出来事でした。

「人格者を育てる」……学校教育内でおさまらない、社会全体の永遠の課題のように思います。日々のご家庭での子育て……地域の見守りや温かな眼差し……家庭・地域・学校が連携することで、この課題に向かっていけるのだと思います。

少なくとも、浅江地区に、お年寄りを大切にできる子どもたちがいて、その所作に温かな眼差しを向け、子どもたちのことを誇りに思っただけの保護者・地域の方がいらっしやることは間違いありません。

学校教育は万能ではありませんが、このようなコメントをいただくことで、教職員の自己肯定感も高まり、一層「現在の教育活動を頑張ろう!」と思えます。

引き続き、地域とともにある浅江中学校をよろしく願います。

同日、虹ヶ浜では、20名を超える子どもたちが、「虹の鯉のぼりプロジェクト」に参加していました。学校を離れ、地域に溶け込み、しっかりと活動していました。

